

講義科目 : 特別演習	単位数 : 4
担当 : 杉野 香江	学習形態 : 自由選択科目
* 第2学年で履修	

講義の内容・方法および到達目標

本演習では、健康増進を目的とした調査・研究を行う。主に骨量減少や筋力低下に及ぼすライフスタイル関連因子について、年代や性別ごとに検討する。また、健常者のビタミンDの摂取不足等を調査し、身体およびメンタルヘルスに及ぼす影響について検討する。

研究を通して、自ら課題を発見し解決する能力を養うことを目標とする。

授業計画

第1回	ガイダンス・研究テーマの紹介	第16回	調査に向けての準備と確認
第2回	研究テーマの設定	第17回	調査研究の実施（インフォームドコンセント、アンケート配布等）
第3回	文献資料の読み方	第18回	調査研究の実施（アンケート回収等）
第4回	論文輪読（生活習慣と骨など）	第19回	調査研究の実施（身体計測の実施等）
第5回	論文輪読（生活習慣と筋力など）	第20回	データ入力前の確認と整理
第6回	論文輪読（VDの機能性など）	第21回	データ入力と解析
第7回	論文輪読（VDの摂取状況など）	第22回	食事調査データ入力
第8回	研究テーマの資料・文献の収集	第23回	食事調査の解析
第9回	研究テーマの資料・文献の発表	第24回	調査結果のまとめと考察の方法
第10回	研究テーマの資料・文献の評価	第25回	調査結果の考察
第11回	調査・研究の方法	第26回	論文作成
第12回	調査・研究の対象と個人情報管理	第27回	論文指導
第13回	研究計画の作成	第28回	論文の完成
第14回	研究計画の修正と確認	第29回	研究成果の発表方法
第15回	調査に向けての準備	第30回	研究成果の発表

※受講生の状況などによって内容を変更する可能性があります。

教材・テキスト・参考文献等

参考文献は適宜紹介する。

成績評価方法

出席状況（20%）、論文と研究発表（40%）、研究に取り組む姿勢（40%）により評価する。

その他

- ・調査を行うにあたり、受講日以外の研究活動が必要となる場合があります。
- ・受講生がグループで協力して文献の収集やデータ解析を行い、理解を深めることとします。
- ・地域連携活動（世界の料理）への参加希望者は、調理実習を行うことも可能です。